



令和2年4月 あおば支援学校開校!!

本市で2校目となる特別支援学校「熊本市立あおば支援学校」が、城東小学校と藤園中学校の敷地内に開校しました。子どもたちは毎日、元気に通ってきています。



校章



【教育目標】

児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、将来の自立と社会参加のための基盤となる「生きる力」を育成する。

【小学部目標】

子どもの意欲を育み、生活の基盤となる技能や身近な人とコミュニケーションを図る力をもった児童を育成する。

【中学部目標】

自己選択・自己決定する力を育み、夢の実現に向けてたくましく生きる力をもった生徒を育成する。



「あおば夏まつり」
手作り輪投げ挑戦中!



「場に応じた服装」
の学習中!



小中学部合同による
避難訓練

<問い合わせ先> 総合支援課 TEL.328-2743



泉教育委員に聞きました。

コロナ禍での子どもとの過ごし方。

新型コロナウイルスの感染拡大に不安を抱く日々が続く中、子どもとの過ごし方のヒントを熊本市教育委員であり、精神科医でもある泉 薫子委員に聞きました。



泉 薫子（いずみ かおるこ）教育委員
精神科医
平成 22 年度から熊本市教育委員会委員



現在、子どもと接する際に気を付けることは何でしょうか？



感染対策も長期にわたり、緊張が続き、皆が疲労を感じ、大人も子どももストレスが増しているのではないのでしょうか。特に「いつもと違った状況」ということに子どもたちはとても敏感で不安になりがちです。いつもにも増して子どもの様子に目を配る必要があると思います。それと同時に、大人もストレス解消やリラックスする時間を作るなどして、余裕を持って子どもと接することを心がけましょう。



子どもの不調を示すサインはありますか？



このようにストレスが長く続くような状況下では、子どもたちの中には、心理的な反応が出る場合もあります。「いつもより甘えてくる」、「そばを離れない」、「おねしょをしてしまう」、「いらいらしている」、「兄弟げんかが増える」、「元気がない」、「悲しくなる」などです。いつもと様子が違うと感じたら話を聞いてあげたり見守ってあげたりしてください。



家で過ごすことが多くなる中、スマートフォンやゲームとの付き合い方について、依存症にならないよう何に気を付けるべきでしょうか？



休校中に行ったオンライン授業もそうですが、今後 SNS の利用はさらに活発になります。そんな中、これからの SNS とのつきあい方が子どもたちにとってはとても重要です。スマホやゲームなど、SNS には依存症と隣り合わせの危険もあり、家の中でもルールを守る、依存の危険性を知るなど、話し合いをして上手な SNS とのつきあい方を学んでいきましょう。



（続き）コロナ禍での子どもとの過ごし方。



部活動の大会や学校行事等が中止され、がっかりしている場合、どのような声掛けや態度が有効でしょうか？



様々な行動が制限されて、子どもたちは、がっかりしたり悲しんだりしていることと思います。周囲の大人は、「こういう制限がなぜ必要であるか」をできるだけ子どもにわかりやすく説明することが大事です。理由がわかると、子どもたちは、不便や制限を理解して我慢しやすくなるからです。

そのために大人は、できるだけ正確な情報を得ることが必要です。残念ながら、テレビなどのメディアの情報は不正確なこともあり不安をあおるような内容も多いようです。冷静に判断し、不正確な情報に振り回されないようにしましょう。



どのような生活を送ることで心と体の健康を保つことができるでしょうか？



コロナウイルスとの闘いは、命の大切さを考える良い機会でもあります。人間は長い歴史の中で、感染症と何度も闘ってきました。その経験の上に今の私たちがいるのです。自分が感染しないための「手洗い」や人に感染させないための「マスク」などは、自分たちの命を守るために日本人が昔から習慣付けてきたことであり、今回のウイルスにも役立っているようです。「三密をさける」ということは、今回のウイルスとの闘いで手に入れた、大事な知恵です。正しく理解して、怖がりすぎず、柔軟に生活しながら、命を守ることが、これからのコロナ時代の生活に必要でしょう。



最後に、新型コロナウイルス感染症の影響で社会が変化する中、今後どのようなことを心がけていけばいいか教えてください。



今回のコロナ感染後の世の中では、様々なシステムが変化すると考えられます。職場や人間関係、学校も例外ではありません。元に戻るのではなく、変化が求められるでしょう。人と人の物理的な距離は広がり、集団行動も制限されます。だからこそ言葉でのコミュニケーションはさらに重要性を増すと思われます。子どもとのコミュニケーションをとる機会を努めて増やしましょう。



龍田小学校 透明マスク 手作りしたよ

龍田小学校では、新型コロナウイルス対策として、飛沫防止の透明マスクを児童が手作りしています。感染予防にはマスクが不可欠ですが、夏は暑いうえに、表情がわかりにくくコミュニケーションが取りづらいため、子どもたちが不安を感じないようにと、佐土原校長先生の提案で透明マスクを作ることになりました。透明マスクは5、6年生が全校児童分を全て手作り！熊本日日新聞の記事にもなり、反響が大きく、熊本のホームページで「龍田小学校流 透明マスクの作り方」が公開されています。

くまにち 龍田 マスク



完成品はこちら→
あごにスポンジ部分をあてて、ひもを耳にかけて装着します。皆さんも龍田小学校流透明マスク作ってみませんか。



みんなのために、1つ1つ丁寧に作りました。使ってみたら、軽くて、熱がこもらず、お友達の顔もよく見えてうれしい！と、笑顔が広がりました。

LINEを活用した悩み相談について

登録QRコード



現役大学生が心理カウンセラーのどちらかを相談相手に選びLINEトークで相談できます。

(トークで相談できる日)
計32日午後5時～午後9時
・8/24(月)～9/6(日)
↑毎日
・9/13(日)～12/20(日)
↑毎週日曜日
・1/7(木)～1/9(土)
↑毎日

心理診断で自分の状態を知ることができます。

8月1日からLINEを用いた生徒の心のケアを実施しています。詳しくは説明動画をご覧ください。

ほっとらいんに友だち登録しているみんなに相談することができます。

個人トークで相談する

みんなに相談

すぐに知らせる

画面下に現れるボタン

心理テスト
今の自分を知る

ほっとストーリー

相談窓口一覧

いろんな場面ごとの心の落ち着かせ方に関するお話を読むことができます。

説明動画



いじめや虐待を教育委員会に直接伝えることができます。

熊本市の相談窓口がわかります。

＜問い合わせ先＞総合支援課 Tel.328-2743



学習支援特別番組「くまもっと まなびたいム PLUS ～中3 夏の陣～」

第3弾 放送決定！

令和2年8月24日（月）～28日（金）



夏休み中の**中学3年生向け**の学力充実及び不安軽減のために、教育センターでは、国語、社会、数学、理科、英語の学習課題の重要ポイントを解説する「くまもっと まなびたいム PLUS ～中3 夏の陣～」を放送します。

是非、視聴いただき、家庭学習の充実にご活用をお願いします。

【教科及び放送局等】 詳しくは、熊本市教育センターHPに随時掲載！

国語：熊本放送（RKK）10：25～10：55

社会：テレビ熊本（TKU）16：19～16：49 サブチャンネル

数学：熊本県民テレビ（KKT）15：50～16：20 サブチャンネル

理科：熊本朝日放送（KAB）15：15～15：45 サブチャンネル

英語：熊本放送（RKKラジオ）13：00～13：30



学習支援特別テレビ番組「くまもっと まなびたいム」番組コンテンツ

番組コンテンツ配信中！

家庭での再視聴及び授業への活用を！



学習支援特別テレビ番組「くまもっと まなびたいム」4・5月編の番組コンテンツを熊本市教育センターHPに掲載し、You Tubeチャンネルで配信中です。

学年・教科ごとに分けて作成しておりますので、家庭での再視聴及び授業への活用にお役立てください。

【授業実践例】 月出小学校3年2組 「書写」毛筆で書いてみよう

熊本城おもてなし武将隊による書写のテレビ授業を視聴しながら、授業が進められました。姿勢、筆の持ち方、基本的筆遣い、後片付けの仕方等、初めて毛筆書写を学習する3年生が、短時間でポイントを的確につかむことができたので、その後の指導に大変効果的でした。

また、武将隊のユーモアあふれる授業は、子どもたちの学習意欲を大きく引き出していました。



「くまもっと まなびたいム」＜問い合わせ先＞教育センター TEL245-6371

熊本博物館から3つのお知らせだべえ

「しゃちべえ」

熊本博物館 マスコットキャラクター



夏休み期間中のプラネタリウム

夏休み期間中のプラネタリウムの放映は、新型コロナウイルス感染拡大防止（ドーム内の換気、消毒作業）のため、定員及び放映時間を変更しております。時間に余裕をもってご来館ください。

【放映時間】ファミリーアワー（45分）一般放映（55分）

【観覧料】大人：200円 大・高校生：150円 中学生以下：100円

	9:40～	11:10～	12:40～	14:10～	15:40～
平日	×	ファミリー	一般	一般	×
土	一般	ファミリー	一般	ファミリー	一般
日・祝	×	ファミリー	一般	一般	一般

<字幕付きプラネタリウム>

日ごろ音声でお伝えしているプラネタリウムの解説に字幕が付きます。聴覚に障がいをお持ちの方もプラネタリウムをお楽しみいただけます。番組の前半部分では当日夜に見える星空の解説、後半部分では「HORIZON」を放映します。この機会にどうぞ熊本博物館プラネタリウムをお楽しみください。

【日時】8月22日（土）①9:40～②12:40～

【番組】「HORIZON～宇宙の果てにあるもの」



くまはく自由研究相談

今年の夏休みも残りわずか！いよいよ自由研究のまとめにとりかかる時期です。でも集めた標本の見分け方が難しかったり、まとめ方がわからなかったり…とお困りのことはありませんか？熊本博物館の動物、植物、化石、岩石、天文、科学実験などの専門家が皆さんの自由研究の仕上げのお手伝いをします。

【期間】8月中旬～8月下旬 【場所】熊本博物館 学芸室

【申込方法】住所、氏名、学年、電話番号、研究テーマと相談したい内容を書いて、熊本博物館 HP 申込専用フォーム（「熊本博物館 自由研究」で検索）、または往復はがきにてお申し込みください。受付後、内容に一番近い分野の職員よりご連絡いたします。

（はがき送付先）〒860-0007 熊本市中央区古京町 3-2

熊本博物館 自由研究相談 係





スクールキッズパス & 中学生入館証

市内の小中学生が、無料で熊本博物館・塚原歴史民俗資料館に入ることができるカードを、6月に配布しています。夏の企画展など、楽しい企画をたくさんご用意してお待ちしていますので、お友達、ご家族でぜひお越しください。

※熊本市動植物園でも使えます。



(小学生用)
スクールキッズパス



中学生入館証

<問い合わせ先> 熊本博物館 Tel.324-3500



家庭教育セミナー

学校保健委員会・入学説明会・PTAの
学習会等に無料で講師を派遣します！

子どもとどう向き合ったらよいかわからない。我が子はどう育てたら良いのだろう…本を読んでも、誰に聞いても、どうすべきか分からない…。

そんな保護者の皆様が、子どもとの接し方や親としての心がまえ等について楽しく学べるよう、学校やPTA等で開催される学習会に専門の講師を派遣します。

～家庭教育セミナーの活用例～

★児童・保護者向け学習会(学校保健委員会)「食事・睡眠・運動に関するお話しと軽運動」

★入学説明会での保護者向けワークショップ「保護者のつながり作りと子育てのヒント」

★PTA 教養委員会の学習会「子育てのイライラ解消法(アンガーマネジメント)」

講演会型

ご要望のテーマ(子育ての楽しみ方、子どもの基本的生活習慣の育成等)に応じ、講師を派遣します。

オンライン開催に
についてもお気軽に
ご相談ください



ワークショップ型

参加者同士がコミュニケーションを取りながら楽しく学ぶための進行役を派遣します。

申し込みについて

対象者 10人以上の団体・グループ

申込期間 開催予定日の1か月前まで

謝礼金 無 料 (市が負担します) ※会場は各団体・グループでご準備ください

申込方法 熊本市のホームページから申込書をダウンロードして頂き、必要事項をご記入のうえ、郵送、FAXまたはEメールにてお送りください。

申込先 (郵送) 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号 青少年教育課

(FAX) 328-3040 (メール) seishounenkyouiku@city.kumamoto.lg.jp

★本セミナーの
詳しい情報はこ
ちらから↓
(熊本市HP)



<問い合わせ先> 青少年教育課 Tel.328-2277



広げよう地域教育の輪

子どもたちの多様な学びを支援するため、特色ある地域教育の取組を定期的に紹介します。今回は力合西小学校PTAの防災委員会です。

力合西小学校 PTA

～防災委員会というかたち～



【力合西小 PTA 防災委員会について】

2016年4月、熊本地震の発生により、開校3年目の子どもの学び舎に最大1,700人もの住民が避難。地域住民の総力を結集し、避難所閉鎖までの2週間を何とか乗り越えることができました。

しかし、2週間の避難所運営では、「もっとこうしておけばよかった」という悔しさが残り、次の災害で誰の命も失わないように、笑顔を失わないようにとの思いから、翌2017年度からPTA組織に防災委員会を立ち上げました。

力合西小 PTA 行事には、地域の自治会、校区防災連絡会と連携した様々な活動があります。防災クッキングやバザー時の防災ブース、まち歩きを開催。そして、令和元年度熊本市 PTA 研究大会で紹介された防災シミュレーション「クロスロードゲーム」など、多岐にわたります。

今回は、昨年7月に開催された「マイ・タイムラインを作ろう」の様子をご紹介します。

「マイ・タイムラインを作ろう」

地元小学生、保護者等がおおよそ100人参加のもと、令和元年7月6日（土）に「マイ・タイムラインを作ろう」を開催。

この「マイ・タイムライン」とは、いざという時にあわてることがないように、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理したもの(防災行動計画)です。

国土交通省熊本国道事務所と南区役所から、白川の現状や過去の水害の状況、ハザードマップの説明、情報のとり方、伝達方法などについて説明を受けた後、地域の防災士のアドバイスのもと、参加者は自分の事前防災行動計画を作成しました。

参加した児童は終了後、「水害があったら自分の大切な命を守れるところに避難したいです。自分の命は自分で守って、家族や友達、大切な人を守りたいです。」と話しました。



「子どもたちの笑顔を絶やさない」



力合西小学校PTA防災委員会にお話を伺いました。「子どもたちの笑顔を何があっても絶やさないためには、学校・地域・PTA・行政が助け合うことが必要です。『防災委員会』というかたちを使い、『防災』という言葉を使わなくても良い備えができるくらしを目指して活動していきます。」と同委員会の土井さん。

「新たな形で、どんなことがあっても、子どもたちの命・笑顔を守る。」と想いがあふれます。

今後、力合西小PTAの「誰一人取り残さない」防災委員会の取組が、各地域に広がることを期待しています。

＜問い合わせ先＞青少年教育課 TEL328-2277